



おの じゅん いち
小 野 順 一

新消防庁舎完成で安心が増す

～ 六つの大きな機能 ～

質

新消防庁舎は、高機能通信指令システムが設置されているが、機能と効果について伺う。

答 市長

通信指令室で119番を受信後、地図等検索装置と連動して災害地点を決定し、出動車両の選定を自動的に行う「自動出動指定装置」、災害受付時に現場付近の詳細な地図を表示する「地図検索装置」、固定電話・携帯電話・IP電話の発信地を事業者から取得し、指令台の地図シス

テムと連動して通報場所を表示する「位置情報通知装置」、通信指令室で車両の位置を検索し出動、現場到着を把握することができる「車両運用管理装置」、カメラの画像を伝送し、通信指令室でモニターできる「画像伝送装置」、通信指令室からの出動指令の放送や地図付き出動指令書の発行を行う「情報出力装置」などの機能を備えています。

効果としましては、固定電話・GPS機能を搭載した携帯電話・IP電話からの119番受信中に通報者の位置情報が指令台に表示され、災害地点の正確な位置情報が確認できることで出動車両への的確な指示や誘導が行えます。

質

また、119番受信中の予告出動指令放送により、出動までの時間短縮が図れます。

さらには、業務位置が車両運用管理装置で把握できることで、災害地点に1番近い車両を出動させることなどが可能となりました。

答 情報推進課長

高機能通信指令システムは、携帯電話による通報も可能であるとのことだが、この不感地域の解消には、いち早い努力をしていただくべきではないか。

不感地域の解消に向けた事業の計画をいたしておりますが、携帯電話の事業者の了承が必要になりますので、今後、協議を進めていきたいと考えております。



通報場所が表示されるモニター

危険家屋（か おく 廃屋）について

～ 条例制定も含め、調査・研究します ～



佐藤 徳宣

答
総務課長

①本市における一戸建ての空き家戸数は1460戸で、そのうち腐朽や破損があるものは440戸となっています。

空き家の原因としては、過疎化、少子・高齢化、居住者の死亡や相続人の不在などが考えられます。

このままの状態が続けば、生活の営めない廃屋の状態になることが危惧されます。

②通学路などの危険なケースの対応は、まず現地を調査し、所有者を特定するための聞き取りや、不動産登記事項要約書などにより調査を行い、所有者が特定された場合は建物の状況を説明し、適切な処理をお願いしますが、ご理解を得られない場合もあります。

③解体や撤去については、個人の財産ということから行政指導も難しい面がありますが、危険家屋の排除に向けては、引き続き努めてまいります。

③解体や撤去については、所有者・管理者の責任で行っていただくことが原則であります。

しかし、解体費が多額で費用負担できないことや、所有者・管理者が不明な場合、また、所有者・管理者が遠方において解体や撤去にに応じていただけないことなどの理由から、廃屋化した空き家が増加している現状があります。

こういったことから、関係課による「空き家対策庁内連絡会議（仮称）」を設置し、情報の収集及び問題点などの検証を行い、国の動向に注目し、条例制定も含め、調査・研究してまいりたいと考えております。



※その他の質問
・危険交差点の信号機の設置について
・再生可能エネルギーと今夏の電力節電について
・全国神楽大会の開催について